

## ご挨拶

本日はお忙しい中、ご来場いただきまして誠に有難うございました。

Bassoonableが活動を始めて2年、年末の焼肉ライブ2回を経て、ようやくスタジオライブを開催することが出来ました。今回は全12曲のうち6曲が初挑戦のもので、やりがいがあると同時に難しく、厳しい練習となりました。しかし、念願だった「テーマ曲」を作っていただき、またジャズで有名な曲をアレンジしていただくなど、ご助力の賜物を本日初披露できるのは嬉しいものです。

今回も前回同様、松本和人氏にアンサンブル指導をお願いしました。無謀とも思える選曲に対して、じっくり指導いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

また、ゲストプレーヤーとしてパーカッション奏者の和田さんにご登場いただきました。抜群のリズムセクションでサポートしていただき、サウンドも一層強化されたと思います。

堅苦しいコンサートとは趣が違いますので、どうぞ皆様、ひやかしながら茶化しながら、ごゆるりとお過ごし下さい。

## 桐木山花 Yamaka Kiriki MC

生年月日：2月24日

星座：魚座

血液型：AO型

出身地：岐阜市柳ヶ瀬近辺

ニックネーム：やまかちゃん、きりちゃん

趣味：海外逃亡、温泉にでふやける、F1観戦（FERRARIびいきです）

特技：空手、（コワくないよ！）足うらマッサージ

好きな食べ物：嫌いなのはピーマン、ブロッコリー納豆、生タマネギ etc

休日の過ごし方：友人と出かけるかな。でも休みが不定期だからなかなかね。観光地が好きでディズニーランドやシー、お台場などによく出没しています。

\* FMわっちパーソナリティ紹介ページより転載



## Guest Player

### 和田裕美 Hiromi Wada (Perc.)

にやりん和田です。

2001年昭和音楽大学短期大学部卒業。  
2003年同短期大学部研究科修了。打楽器及びマリンバを小島光、鈴木悦久、W・カーンの各氏に師事。東京、神奈川を中心に打楽器奏者として活動する傍ら、吹奏楽部打楽器指導も行なっている。



# Members



## こっしー 越島 康太郎

心筋梗塞で九死に一生を得た人にしては、進歩がない  
というか、変わりばえがしないような。「食事と運動  
には気をつけている」そうです、一応。最近はおペラ  
もやってるらしい。今回は昔取ったなんとかで、ベー  
スも担当。使用楽器：Heckel



## つーふー 広瀬 貴朗

こっしーのダイエットにより、体重順No.2  
に昇格。楽器がお腹に乗ってしまい、以前  
より楽器が遠くなった。今回はFINALEで  
楽譜浄書に尽力。使用楽器：Heckel



## いんちょー 大矢 哲雄

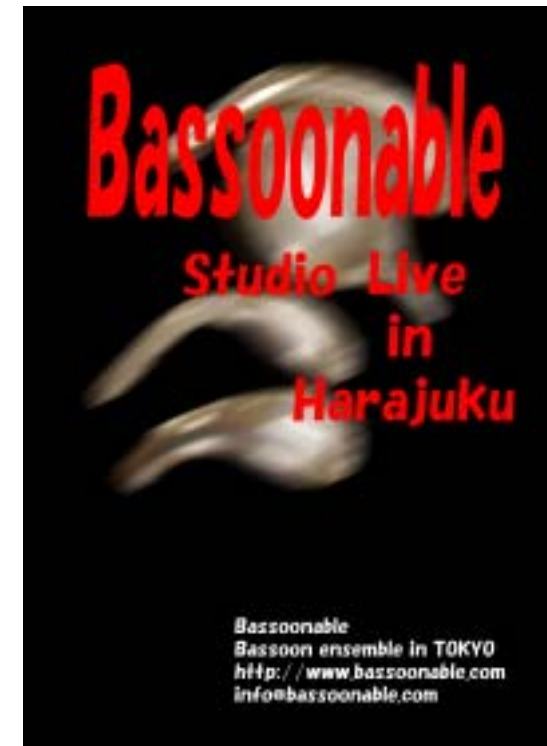
近頃は小政（猫）とのラブラブ暮らしにご  
満悦。彼女より猫と一緒にのほうがいい、と  
いうのは本音かどうか。夜中にBMWぶっ飛  
ばしているらしい。昼間は歯科医院院長も  
やってる。使用楽器：Heckel



## かっしー 谷 佳詩子

体も音量もドデカイおじさん3人を相手に奮闘、  
リズムはメンバーの中で最も頼もしい。独身美女  
を貫くかと思いきや、今年初めについに結婚。泣  
いた男衆は数知れず？

使用楽器：FOX



## BASSOONABLE Studio Live 2005

2005.9.18 18:30~

原宿 アコスタディオ



<http://www.bassoonable.com>

本日の感想や、リクエスト、メンバーになりたいetc、  
ご意見、ご希望はHPまでお寄せください  
次回は、2006年1月早々にライブを予定しています。

# Special thanks.

## 山口哲人 Akihito Yamaguchi



東京藝術大学作曲科卒業、同大学院終了。音楽理論、作曲を服部隆司、野田暉行、川井学氏らに師事。これまでに多くの作曲賞を受賞。また、数多くのオーケストラや合唱団の指揮・指導にあたるなど、幅広く活躍中。

詳しい経歴は以下に掲載されています。  
<http://www.bassoonable.com/info/AkihitoYamaguchi.html>

## 井上 一平 Ipppei Inoue

1983年横浜生まれ。横浜翠嵐高校を卒業後、2002年に渡米。幼少よりピアノを、中学生よりトロンボーンはじめ、現在ボストン在住。Berklee College of Musicにて作曲を専攻。これまでに作曲をYakov Gubanov、John Bavicchiに、指揮をDavid Callahanに師事している。

## 松本 和人 Kazuto Matsumoto

13歳よりファゴットを霧生吉秀氏に師事。東京芸術在学中にはファゴットを岡崎耕治・中川良平の各氏に室内楽を海鋒正毅氏に師事。東京国際音楽コンクール室内楽部門第2位受賞。2003年まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団ファゴット奏者、現在ティピア木管五重奏団・東京プレーザーアンサンブルメンバー。前回は引き続き、アンサンブル指導をお願いしています。



2004.12.29焼肉ライブにて



# プログラム

- 1 Opening...
- 2 Bassoonable Theme
- 3 Just the Two of Us
- 4 Frippery No.15  
"Some Things Borrowed"
- 5 You'd be so nice to come home to
- 6 A Portrait
- < 休憩 >
- 7 Alexandar's Ragtime Band
- 8 Jalousie
- 9 Three Costa Rican Dances  
Flor de Receda, Dudas, Pianguita
- 10 Watermelon Man
- 11 Strangly Enough
- 12 Garota de Ipanema

## *Opening...*

原曲のプレーヤー3人も羨ましがれるアレンジにてお届けします

## *Bassoonable Theme*

「やっぱ、テーマ曲とかあるといいよねー」と練習後の宴会で話題になり、フーファーが以前オペラでお世話になったことがある、山口哲人さんをお願いしました。リクエストは、ルパン世のテーマみたいにかっこよく、各自にソロがあって、疲れないように短くて易しい曲を!!!ということだったんですが、最後の易しいが省略されているような。。。今回初お披露目です。

## *Just the Two of Us*

前回の焼肉ライブでのリクエストにお答えして、井上一平氏にアレンジをお願いしました。

## *Frippery No.15 "Some Things Borrowed"*

Lowell E.ShawのFripperyの中から、カントリーの名曲を多数織り込んだ"Some Things Borrowed"を。

## *You'd be so nice to come home to*

前回の焼肉ライブで、松本ゆり子氏にアレンジをお願いしたCole Porterのヒット曲

## *A Portrait*

G.ガーシュンの名曲をメドレーでお届けします。

## *Alexandar's Ragtime Band*

Irving Berlinの曲をJack Galeのアレンジで。

## *Jalousie*

コンチネンタル・タンゴの代表曲だが、アルゼンチンでもたびたび演奏されます

## *Three Costa Rican Dances*

ラテンアメリカ、コスタリカの伝統的なダンス(伝統的な音楽とヨーロッパのスロージャンスが融合した)を3曲お届けします。

## *Watermelon Man*

1960年代に大ヒットしたHerbie HANCOCKの作品。彼が子供の頃に聞いたスイカ売りの声、この曲のモチーフになっているとか。

## *Strangly Enough*

ビートルズのヒットソングのメドレー。I want to hold your hand, Hey Jude, Eight days a week, Yesterday, Get Back, Let it be

## *Garota de Ipanema*

1990年に行われた調査によれば「イパネマの娘」は、歴史上5番目に多く演奏された曲だとか。海岸を歩く美しい少女と、自分の孤独感を対比させたヴィニシウスの歌詞。ジョピンとヴィニシウスのボサノヴァの金字塔。